

学校スローガン

「自分で考え 決めて チャレンジ! みんなでつくる 明日の緑小!」



緑小だより

令和7年5月23日(金)発行 NO.7

留萌市立緑丘小学校

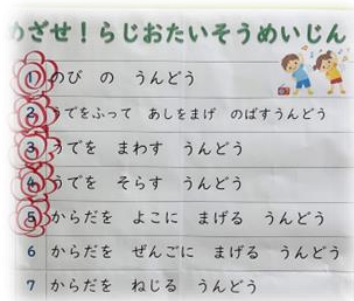


算数の学習では、どの学年も学び方を自分で決めて取り組む学習を取り入れています。2年生「ひき算」の学習では、問題に一人でじっくり取り組む子、分からなくなったらすぐに聞けるように先生の近くで取り組む子、立って友達と取り組む子。どの子も自分に合った学習方法で、主体的に取り組めるようになってきました。選んだ方法が失敗するときもありますが、その反省を次時に生かせるように振り返りをしながら、学びの自己調整にも挑戦中です。(TT:)



一年生

小学校初めての運動会に向けて、少しずつ練習が始まりました。並ぶときの「気を付け」「前へならえ」「休め」「回れ右」もスムーズにできるようになってきました。先週から、「50メートル走」をしています。隣を走る友達が気になって、ついつい横を向いて走るかわいらしい子どもたち。本番に向けて、前を向いて走る練習もしていきたいです。そして、ラジオ体操の練習もスタートしました!「ラジオ体操名人」を目指して13個の項目から毎日1つずつ動きの練習をしています。今のところ順調に5個の項目をクリアしている子どもたち。みんなどんどん上手にできるようになってきました。この調子で、ラジオ体操名人を目指して頑張ってください。紅白玉入れやダンスの練習もとても楽しそうに練習を頑張っている子どもたちです。6月7日の運動会では、カッコいい!そしてかわいらしい子どもたちの姿をどうぞお楽しみに!(文責:)



四年生

先日、初めての児童総会に参加し、児童会本部や各委員長の活動計画を聞いたり、疑問に思ったことを発表したりすることができました。すでに前期委員会活動は始まっているので、質問や意見は言いやすかったかもしれません。中には、意見を言いたかったのに5年生に先に言われてしまったと悔しがる子もいました。委員会活動が始まる前は、活動することに不安があった4年生も少しずつ慣れてきて、面白さが分かり始める頃かもしれません。2年後は各委員会の委員長になって、立派に委員会活動を率先していくことでしょう。さて、来週から本格的に運動会の練習が始まります。紅白のチーム分けや団体種目の具体的な競技内容の決定など、子どもたちとの練習を重ねて、決めていかなければならないことが山のようにあります。その中で子どもたちがどう自分の課題を乗り越え、成長していくかがこの運動会の取組のメインテーマになります。勝ち負けだけではない、達成感の喜びを全員がもてるように一步一步取り組んでいければと考えています。(文責:)



とくし

1年桐組です。先週の「きらきらタイム新メンバー歓迎会」では、みんなの前で話すのが好きな1年生のために「フルーツバスケット」で遊んだり、「走ってクイズ」に登場する鬼をポケモンにしてもらったりして楽しい時間を過ごすことができました。また、給食や掃除の当番活動が始まりました。当番の日は、学習の片付けも早く、「仕事を早くやってみよう!」という意気込みを感じます。友達と協力しながら、自分でできることをどんどん増やしていってほしいです。



2年柏組です。来週27日からいよいよ運動会の練習が本格的になっていきますが、それに向けて、2年生の体育では、紅白分けや徒競走の出走決めなどが行われました。何回も練習を重ねてくると、走り方もタイムもどんどん良くなってきています。運動会では、勝ち負けにこだわらず、今までで一番速く走る姿を見せてくれたらと期待しています。

今週21日(水)に、「きらきらタイム」でジャガイモとカボチャを植えました。秋には、収穫し、みんなで楽しくクッキングができるといいですね。



3年柏組です。今年も特別支援学級の畑での活動が始まりました。1年生から6年生まで15人の子どもたちが集合して、班ごとにジャガイモとカボチャの苗を植えました。初めに、先生の手本をよく見て、スコップで穴を掘り、一人一個の種いもを置いて土をかぶせました。初めての低学年の子どもたちもみんな楽しそうにしていました。高学年の子たちが優しく教えてくれて、協力しながら活動できたことも素敵でした。これから、みんなで一生懸命水やりと草取りをしてお世話していきたいですね。



二年生

16日(金)、野菜名人の〇〇先生に植え方のコツを教えてくださいながら、野菜の苗を植えました。トマトやピーマンなど、自分の苗に名前を付けて、「〇〇ちゃん、大きくなってね」と声を掛ける姿がとても微笑ましく、子どもたちの愛情の深さを感じました。植えた直後から、まるで大切なペットのように野菜を可愛がる子が続出。下校前には「ちょっとだけ様子見てくる」と、もう一度畑に足を運ぶ姿も多く見られました。これから毎日の水やりや観察を通して、命を育てることの喜びや責任を感じていってほしいと願っています。ご家庭でもぜひ、お子さんの野菜の成長についてお話を聞いてみてください。(文責:)



三年生

ある日の業間休みのこと。体育館の割り当てになっているので、いつもどおりイベント係がドッジボールをしようと呼びかけたのですが、その日は児童会のイベントが…。外はあいにくの曇り空。使える場所は4階のホールくらいという状況でした。係の子は切り替えて、4階ホールでできる遊びを考えることにしました。「ジャンケン列車」が「イス取りゲーム」かとなり、片付けが大変なので、ジャンケン列車をすることにしました。音楽はもちろんアカペラ。遊びが始まると、みんなで歌いながら楽しんでいました。3回ほどしたら、時間もちょうどよくなり、この日は解散となりました。事前に綿密な計画を立ててできた方が安心ですが、今回のように急な変更にも対応できる柔軟性に驚かされました。運営するイベント係だけでなく、楽しい時間を一緒に作った3年生みんなにも感心しました。運動会の練習も始まります。みんなが同じ方向を向いて協力できる「強み」を生かしていけたらと思います。(文責:)



五年生

現在、「クイズ会社」「折り紙会社」「手話会社」「マンガ会社」「サッカー会社」「工作会社」「カフート会社」「サンリオ会社」が社長の呼びかけのもと活動を行っています。会社やメンバーは変更自由、複数加入も可能という中で、「自分たちが楽しむだけでなく、興味のあるものをみんなで分かち合おう」という目標で、計画的に準備をしています。私が感心したのは、1回目の活動を行った後に、みんなに感想を聞いたり、アンケートに答えてもらったりと周囲の意見を取り入れてより楽しい活動に改善しようとする様子が見られたことです。今後も他者意識をもって活動をしていってほしいと思います。来週から本格的に始まる運動会の練習もみんなで意見を出し合い、自分たちで作り上げていきます!(文責:)



六年生

先日、前期児童総会が行われ、児童会本部や各委員長などが活動計画を発表したり、質問・意見に答えたりしました。4年生以上の子どもたちと多くの先生方が見守る中、6年生は終始、立派な態度で臨むことができました。急な質問にも慌てず、相手の顔を見ながら自分で考えた答えを述べる様子にとっても感心しました。名前を呼ばれた時の返事・礼・言葉遣いも「公の場」を意識していることが分かりました。去年と比べると本当に成長したなあと感じます。さて、学校では、運動会と修学旅行の取組が同時進行します。忙しくなるこんな時だからこそ、普段の学習には丁寧さを(文字や言葉が乱暴になる人も…)、また、生活面ではきまりを守る意識を(時間や提出物、校内での過ごし方など)を心掛けさせたいと考えています。体力的にも疲れがたまると思いますので、お家ではしっかり休養を取らせてください。よろしくお願いします。(文責:)



スマホの使い方、大丈夫？ ～グループ LINE のリアル～

子どものスマホの所持率は年々増え、さらに、**持ち始めの低年齢化**が進んでいます。わが子はいつから持たせるのか、お家の方としては本当に悩ましいところですね。加えて、増えているラインによるいじめ、子ども同士のトラブル、世間を驚かすような悲しい事件……。最近、子どもたちの会話から見えてきた「気になること」を挙げてみました。心当たりはありませんか？チェックしてみてくださいね！(^)！

□常に手元にスマホを置いて気にしている。LINEが入ったらすぐ開く（食事中でも宿題中もおかまいなし）。

□1日のうちに何十件、何百件もLINEが入る（大した用事じゃないのに……）。

□来たLINEを開かないと「何ですぐ読んでくれないの？」と友達に言われる。

□返信しないと「スルーされた」と言われる。もしくは「既読スルー」。

□グループに入っていない子の悪口やうわさを書き込む（入っている子の場合も……）。

□学級の話し合いで進めなければならない事なのに、グループLINEの仲間だけで勝手に話を進めちゃう（スマホを持っていない人、グループに入っていない人のことも考えて！）。

□友達や家族、または、他人の写真など（個人情報）を勝手にアップする（犯罪です！）。

□ケンカしたり、誤解があったりしたときに、すぐ退会する（本当はちゃんと話し合いで解決してほしいのに……）。

□グループラインの人同士でしか遊ばない（いろいろな人と関わってほしいな）。

□LINEに入っていない人を仲間はすれにする（いじめです！）。

□親に見せない（事件は親が知らないところから始まります）。

□お家の人と決めたルールを守らない（守らない場合はどうするかも、お子さんと一緒に決めておくといいかも……。約束を守る大切さも伝えたい）。

いくつか当てはまりましたか？一つでも当てはまったものがあれば、これを機にお子さんと使い方について話し合ってみるのもいいですね。そして「お母さんや、お父さんはこう思っている」「スマホはこんな風に使ってほしい、または、こんな使い方はしてほしくない」など、考えを伝えてあげてほしいです。持たせるからには、保護者には**「指導・監督責任があること」**も、子どもの発達段階に合わせて伝えましょう。

LINEのルール、一例を紹介

食事・宿題・家族と話しているときは、スマホを開かない。宿題は集中して、家族との時間は大事に。

送信する前に、相手に誤解されないか、もう一度読み返す。

本当に大事なことは、相手の顔を見て伝える。文字は表情を伝えにくい。目の前にいれば、反応もすぐわかる。

返信は強要できない。友達はいろいろな家庭環境にいてることを想像する。

けんかやトラブルは、できれば友達の顔を直接見ながら話し合いで解決する。LINEではうまく伝わらないことも。また、返信が気になり、他のことができなくなる。

LINEのやり取りは50件まで。相手がやめてくれないときは「うちは50件までだから、また明日ね～」と伝えて終わる。件数に限らず、使える時間帯など、お家のルールをあらかじめ友達に伝えておくといいかも。

☆メッセージの内容☆

- ・一方的に愚痴、批判、不満を書かない。
- ・悪口を書かない。
- ・**親、先生に見られても大丈夫な内容。**

うちのLINEは、お母さんやお父さんも見るよ～と、伝えておく安心。

スマホはとても便利な道具で、もはや私たち大人にとっては欠かせないものですね。しかし、勝手に他人の写真や動画を載せれば、もうネット上から完全に消すことはできず、一歩間違えば、盗撮、プライバシーの侵害、肖像権の侵害、侮辱罪、名誉毀損罪という犯罪になりかねません。もちろん個人情報も同じです。

子どもが扱うスマホの恐ろしさを、私たち大人は再認識しなければなりません。子どもは「興味本位で」「そんなことになるとは思わずに」「みんなもやってるから」と軽い気持ちで扱ってしまいます。けんかやトラブル、いじめや犯罪につながる前に、気付いてあげられるのは私たち大人です。**未然に防ぐ責任は、スマホを与えた大人にある**のです。「うちは、今持たせたら絶対自制できないから、中学校からって言うてある」「家族との連絡用に持たせたけど、LINEはやらせてない」「勝手に友達とのグループLINEに入っていたけど、必要ないからやめさせた。抜けたせいで気まずくなるくらいなら、無理に仲良くなくていい」という声もありました。今一度、本当に必要か考えてみていいかもしれませんね！(^)！

子どもにスマホを持たせる場合は、しっかり監督し、**学校と家庭の双方で子どもを犯罪から守りましょう**。友達同士のグループLINEに入っている場合は、2週間に一度はチェックし、楽しいLINEの環境であるかどうか確かめてあげてくださいね。子どもたちが被害者にも加害者にもならないためにも、どうぞよろしくお願いします。